



幻想的な明かりが彩る、真夏の夜のイベント

LED点灯式と夏祭り 平城第二団地(奈良市右京)



暑さも本番を迎えた7月29日、平城第二団地でURコミュニティ社員による「LED点灯式」が行われました。団地内の人工池と、春にはお花見スポットとして親しまれている桜の木々と紅葉をLEDの明かりで美しく演出しようという、初めての試み。当日は毎年恒例の夏祭りが開催され、にぎやかな夜店や盆踊りも楽しみに、たくさんの人たちが「なにより広場」に足を運びました。

すっかり日も暮れ、心地良い夜風が吹き始めた20時。炭坑節が終了したタイミングで、いよいよ点灯式のカウントダウンが始まりました。アナウンスに合わせて「10、9、8……」と会場全体で息を合わせた後、2カ所同時に点灯。LEDの明かりで照らされた池の水面や木々はとても美しく幻想的で、場内にはあたたかい拍手がわき起こりました。

夜店の前で点灯の瞬間を見守っていた女性は「すごきれいで感動しました」とにっこり。子どもの頃から毎年夏祭りを楽しみにしているという男性も「家路の途中で、こんな風に明かりがともっているとうれしいですね」と笑顔で語ってくれました。点灯式以降も、每晚2時間ほどライトアップは続けられています。



1. 集会所そばの人工池をLEDで美しくライトアップ 2. どちらがたくさんくるかな？お姉ちゃんと競争です 3. 広場中央のやぐらでは小学生による太鼓も披露 4. 夏祭りのちょうちんと桜の木のライトアップが明るく照らします

団地TOPICS

さまざまな団地で行われた
イベント活動をお知らせします。

手びねりで思い思いの作品づくり 夏休み陶芸体験教室を開催 浜甲子園(兵庫県西宮市)



7月30日、浜甲子園団地中央集会所で多世代交流・コミュニティ形成支援イベント「夏休み陶芸体験教室」が開催されました。講師は立杭焼で有名な兵庫県篠山市の窯元「市野伝市窯」の市野達也先生。市野先生による作陶のデモンストレーションから教室はスタート。電動ろくろに載った土を巧みに操り、茶碗、皿、湯飲み、徳利があったという間に完成すると参加者からは「すごい！」「さすが！」といった感嘆の声が上がりました。

デモンストレーションを見学した後は、いよいよ陶芸体験のスタート。ひも状の土を積み上げて器を作る手びねりに挑戦しました。参加者の中には、事前に茶碗の設計図を描いて来た方もおられ「設計図通りに作るのはなかなか難しいです。初めて陶芸を体験しましたが、これからもやってみたいと思います」と話されていました。

幼稚園児から80歳代まで、幅広い世代の26人が参加した今回の教室。毎年恒例の団地夏祭り当日ということもあり、普段は離れて暮らすお孫さんと一緒に参加されている方など、夏休みの思い出に残る一日になりました。



1. 市野先生の見事な手さばきを真剣な表情で見つめる参加者のみなさん 2. 「土いじりは久しぶり」「思ったようにいかないなあ」さまざまな声が上がります 3. 「ここはもう少し薄くした方がいいね」市野先生が丁寧に説明します 4. ボクはお皿を作ったよ！

かけがえのない晩夏の集い 10年以上続く団地夏まつり 森之宮団地(大阪市城東区)



8月20日、森之宮団地で「第1団地夏まつり」が開催されました。10年以上親しまれ続けてきた同イベント。今年はUR、(株)URコミュニティの協賛で、マジックショーやビンゴ大会がオープニングを飾り、夕闇迫る広場は、手品のトリックに驚く人やビンゴの数字発表に歓声を上げる人で大いににぎわいました。夏休み中ということもあって、同団地に住む祖父母に会いに来たお孫さんの姿もあちこちに。一緒にいかに焼やベビーカーカステラなどの屋台に並んだり、ボールすくいを楽しんだり、ほほ笑ましい姿が見られました。

毎年大好評なのが、飲料販売や女性部お手製のおでん・赤飯です。参加者は4号棟のピロティに設けられたフリースペースで人気メニューを堪能しながら、つもる話に花を咲かせていました。

「毎年約400人が集う夏まつりは子どもから高齢者までが一つになって楽しめる貴重な場所。地域活性化のためにも、ぜひこれからも続けたいです」と話すのは、自治会長の鳥山和男さん。参加者からも「安心して子どもと遊べる」「ワイワイ集まれるのが魅力！」との声が聞かれ、地域住民の憩いの場としてすっかり定着しています。少し涼しい風が吹き始めた晩夏の夜、皆が思い思いに楽しいひとときを過ごしていました。



1. マジックショーにはお子さんも参加。どんな仕掛けがあるのかな？ 2. イベントを盛り上げる富士山に扮したゆるキャラも登場！ 3. ビンゴ大会では番号が発表されるたびに、みんな一喜一憂 4. ベビーカーカステラの甘い香りが、参加者を惹きつけます

描いて、デコって、自分だけの作品が完成 バッジ作り無料体験を開催 パークタウン西武庫(兵庫県西宮市)



8月26日、パークタウン西武庫団地で多世代交流・コミュニティ形成支援イベント「バッジ作り無料体験」が開催されました。毎年恒例の団地夏祭り当日ということもあり、体験が始まる15時から多くの子もたちが集まり、一時期はブースの外に順番待ちの列ができるほどのにぎわいとなりました。

バッジの土台となる木片はアラカシやクスノキ、サクラなどURの団地で伐採した樹木を再利用したもの。木の断面に人気のキャラクターや文字を自由に描き、貝殻やスパンコールなどで飾り付ければ自分だけのオリジナルバッジが完成。でき上がったバッジを子ども同士で見せ合いながら「うわ〜、かわいいな！」「よかった声があちこちで上がっていました。

また、ブースの一角では「国旗当てゲーム」も同時に開催しました。ボールに書かれた国名とテーブルに並ぶ国旗を組み合わせるクイズで、小学生や中学生がチャレンジ。全問正解する小学生が出現したり、難しい問題は子ども同士でヒントを出し合ったり、和気あいあいとした姿が見られました。



1. お子さんと一緒に参加した保護者は木のメダルを作成。「秋の運動会が終わったら子どもに渡します！」「2. 「パーレーンってどんな国旗！？」国旗当てクイズでは難しい問題にとまどう子どもも

千島団地から 大正区をおもしろく！

TAISHO☆UPプロジェクト

2016年6月に発足した「TAISHO☆UP！プロジェクト」。千島団地から大正区を盛り上げるさまざまな企画が進行中です！

PROJECT:001 わずか一日で仕上げる！DIYルーム 夏水組とのコラボを開催



6月28日、千島団地内の一室を使い「わずか一日で仕上げる！DIYルーム」を開催しました。今回コラボしたのは、女性ならではの感性を生かした内装デザインや商品企画を手掛ける「株式会社夏水組」。同社が

開講する「内装の学校〜DIY実践編〜」の受講生ら10人が、1日で空き家住戸のDIYにチャレンジしました。同団地にDIY相談サロン「壁紙屋本舗LAB」を構える壁紙屋本舗のスタッフらが、壁紙貼りやペンキ塗りなど、DIYの基礎から応用まで指導。最初は不慣れだったDIY初心者も徐々に慣れ、助け合いながらおしゃれな部屋が完成しました。

インテリア雑貨・家具メーカー「DULTON」の家具も設置された部屋で、参加者からは「色の使い方や小物の選び方が勉強になりました」「学ん

モデルルームを見学できます
千島団地現地案内所まで



だことを実践してみたい」といった声が聞かれ、達成感と一体感に包まれていました。

PROJECT:002 “ものづくりのまち”満喫できる一日に 大正クラフトライフマーケット



7月8日には「大正クラフトライフマーケット」を開催。布えのぐを使ったトートバッグや、木のブローチ製作など“ものづくりのまち”大正区が感じられるブースが多数出店。材木の切削から組み立て、着色まで真剣な眼差しで木材と向き合う小学生の姿も見られました。

また、TAISHO☆UPプロジェクトの

テーマの一つ「MUSIC」にも光を当て、大正区内在住のミュージシャン・kim morrisさんによる弾き語りミニライブも開催。多くの聴衆がギターの音色と優しい歌声に酔いしれました。午後は人気DIYクリエイターGamily(gami&Mily)によるライブペイントショーと、デニムガーランドのワークショップが行われました。ライブペイントショーではまるで本物の「街の風景」が会場に出現。集まった観衆は感嘆の声を上げ、スマートフォンなどで写真に収めていました。

デニムガーランドワークショップは、素材作りから始まり、参加者同士でアドバイスする場面も見られるな

どアットホームな雰囲気、2時間があっという間に感じられるほどでした。



1 真剣な表情で木工に取り組みます 2 軽食からスイーツまで飲食ブースも充実 3 kim morrisさんによる弾き語りミニライブ 4 ライブペイントショーで出現した「街の風景」 5 デニムガーランドのワークショップ

秋の訪れを感じさせる風物詩 納涼まつり・バザーを開催 シティコート下新庄(大阪市東淀川区)



8月26日、シティコート下新庄で毎年恒例の納涼まつりとバザーが開催されました。日中に実施したバザーでは、自治会の女性部が持ち寄った贈答品や手芸品などを目当てに、団地にお住まいの奥さま方が大勢集まりました。

納涼祭は16時から団地中央に位置する時計公園周辺でスタート。自治会役員や有志メンバーによって焼きそば、焼き鳥、おでん、かき氷などの販売から、金魚すくい、ゲームといった子どもでにぎわうコーナーまでさまざまな模擬店が用意されました。団地住民を中心に多くの人が訪れ、公園のベンチで家族がのんびりくつろいだり、子どもたちが友人同士でゲームに興じたりと、思い思いの時間を過ごしていました。

20年以上続く夏祭りとして、「この祭りが始まると夏も終わりと感じます。子どもが走り回っている姿を見ると元気が出ます」との声も聞かれました。納涼祭のクライマックスは、19時から開かれるビンゴゲーム。豪華な家電からすいかやトイレトペーパーなどの食品・日用品までさまざまな景品が用意され、大人から子どもまで一喜一憂しながら電光掲示板に映し出される数字に見入っていました。



1. 会場には「リーチ！」「ビンゴ！」の声がかかります 2. 終盤にさしかかると商品が値引きされ、バザー会場も熱を帯びます 3. 普段顔を合わせる機会が少ない団地住民とも触れ合える貴重な場 4. ビールを片手にご近所さんとおしゃべり

vol.4

団地テナント 気になろお店

新しいつながりが生まれる場所を目指して

独居高齢者の孤立や若い世代の自治会加入率低下など、住民と社会のつながりが希薄になっている中、これまでの生活の中心であった自宅や職場とは違う“第3の居場所”として、大開団地内に福島区まちづくりセンターが開設したイベントスペースです。

団地にお住まいの方でなくても※ごろうな料金で利用できることから、昨年11月の開設以来、育児情報の交換などを行う「ママカフェ」や野菜・果実の「もったいない市」、理学療法士が無料で診断してくれるボディメンテナンスや体力測定など、さまざまな人が日替わりでイベントを開催しています。地域でイベントやサロンを開催したいといったご要望があれば、お気軽にご相談ください。

※利用者は原則として区内在住者および区内に勤者が代表を務めるグループに限る

SHOP DATA

★ 大阪市福島区大開4-1 UR大開11号棟1階
☎ 06-6462-1117(福島区まちづくりセンター) ㊟ 不定期
💵 9:00〜12:00、13:00〜16:00はともに各1,000円、18:00〜21:00は2,000円
📍 阪神本線「淀川」駅から徒歩約8分。または阪神本線「野田」駅・地下鉄千日前線「野田阪神」駅から徒歩約10分。またはJR東西線「海老江」駅から徒歩約15分

大開(大阪市福島区) ふくしまサード・プレース



1 団地内外のママが集まるママカフェは、悩みや要望などを共有できる貴重な交流の場 2 ワケあり良品を10円から販売する「野菜・果実のもったいない市」には100人を超える人が訪れます 3 内装は近畿大学建築学部が企画。住民とともに施工まで手がけてくれました